



繋がる日本プロジェクト

若者たちの才能を「囲う」から「シェアする」へ

SHARE VALUE PROJECT

PROPOSAL DRAFT

2025.10.01 里村千尋





SHARE VALUE PROJECT

目次

00 イントロダクション

01 我々のミッション

02 解決したい課題

03 解決策の提案

04 プロダクト

05 ケーススタディ

06 私たちについて

07 運営体制

08 サポート体制

09 お問い合わせ

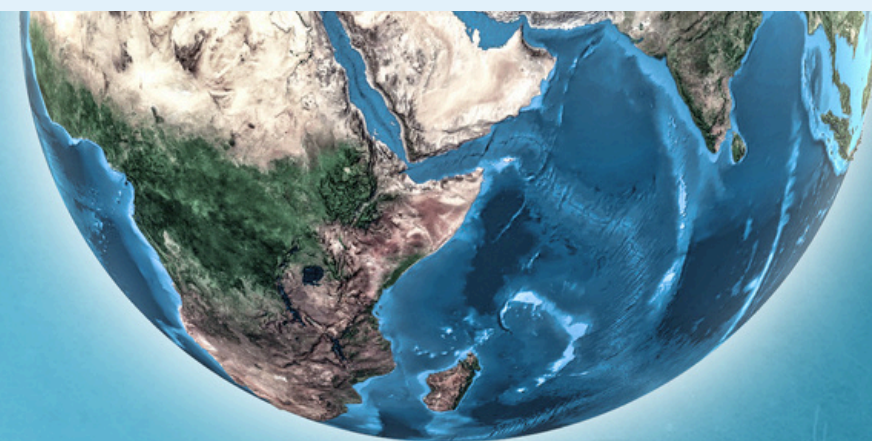




SHARE VALUE PROJECT

00

イントロダクション





SHARE VALUE PROJECT

イントロダクション

世代と地域のギャップを 超えて共創を生み出す

「シェア・バリュー・プロジェクト」は、共創の仕組化によって持続可能性実現に寄与する「繋がる日本プロジェクト」の一環において、「才能のシェア」で持続可能性を実現するプロジェクト。





SHARE VALUE PROJECT

01

我々のミッション





SHARE VALUE PROJECT

我々のミッション

若者たちの可能性で 持続可能な未来を創造する

私たちは「共創」を通じて社会に貢献し、
サステナビリティへ寄与します。





SHARE VALUE PROJECT

02

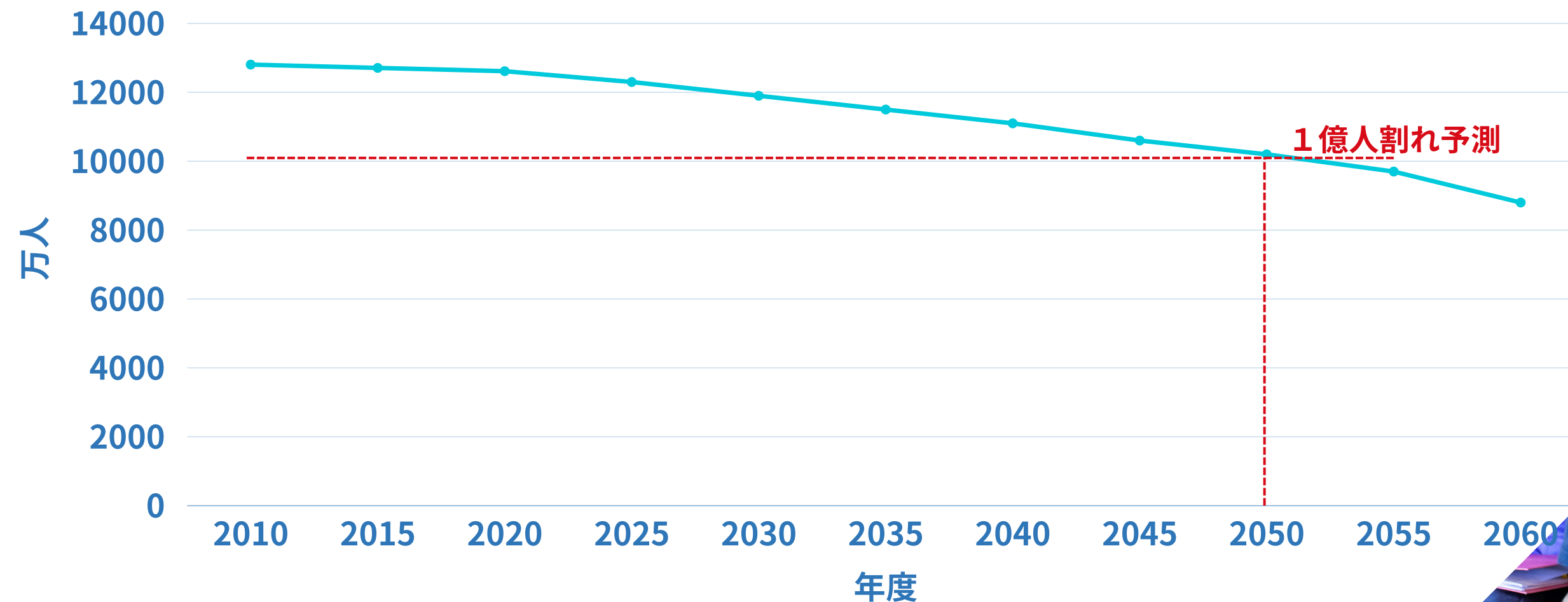
解決したい課題





解決したい課題

人口減少社会に伴う生産性低下





解決したい課題

少子化、人口減少、労働人口減少、 による生産力、生産性の低下

2024年。

日本の出生数は70万人を切り、総人口も2023年度
比で約90万人減少

今後の20年で国内市場は約6分の1が喪失する予測





03

解決策の提案





解決策の提案

才能を「囲う」から 「シェアする」へ

若者たちの才能を、一つの企業・団体で「囲う」採用モデルから、社会全体で「シェアする」協業モデルへ転換し、社会全体の生産性向上へ繋ぎ、就職と雇用リスクも軽減させる

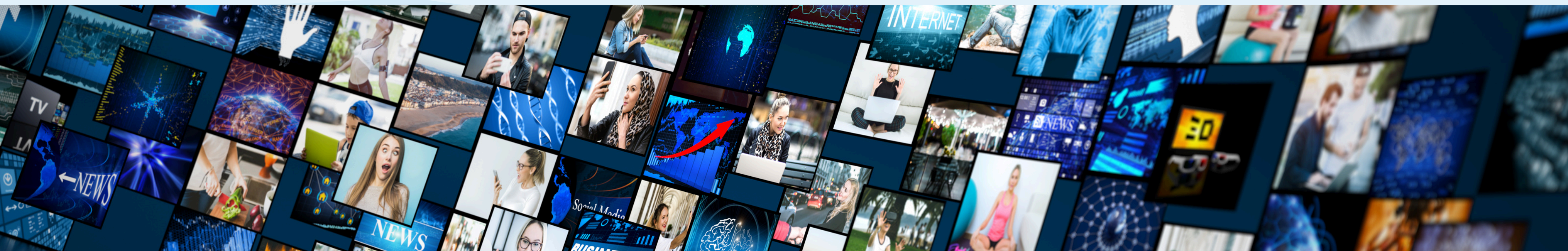




SHARE VALUE PROJECT

04

プロダクト





解決のためのプロダクト

ミスマッチをなくすために

これまでの、限られた採用期間と使用方法に捉われずにまずは「お互いを知る」ことを目的に十分な時間と期間を設け、学歴や偏差値に表れない「人格」で理解し合う





解決のためのプロダクト

① 「多様な才能」との交流イベント

様々な活動を行う若者たちが集まる交流会を開催。企業側は、自社のビジョンや課題をカジュアルに共有することで、若者たちとの共創のポイント、課題解決への新たなアイデアなどを見つけ、若者たちと企業との接点を生み出します。

③ 「多様な才能」との共創プロジェクト

新規事業開発や既存事業の改善など、企業と若者たちとの共創プロジェクトを実施。中長期的に、企業と若者たちが共創し課題に取り組むことで、外部の知見を取り込みながらプロジェクトを推進し、若者と企業双方が対等なパートナーとして、新しい価値を創造します。

② 「多様な才能」とのワークショップ

企業の抱える具体的な課題に対し、若者たちが持つ地域活性、教育など様々な活動で得たスキルや、SNS、動画メディアなどのスキルを活かしたワークショップを企画・運営。企業は、若者のフレッシュな発想から新たな解決策のヒントを得られるとともに共創に向けた相性やスキルを見極めることができます。

④ 「多様な才能」とのアイデアソン

企業、自治体が提示する課題に対し、多岐にわたる才能を持つ若者たちがチームを組み、短時間で集中的にアイデアを競い合う。企業は、通常では得られないような多様なアイデアを一気に収集できるだけでなく、若者たちの問題解決能力やチームワークを自社に活かすことができます。



05

ケーススタディ



これまでの事例



富山県企業 x 都市圏学生
課題解決交流会



岡山県企業 x 関西圏の若者
企業経営者との交流会



宮崎県企業 x 関西圏の若者
課題解決アイデアソン



旅行会社 x 地方創生学生団体
観光庁観光再始動プロジェクト



Vtuber会社 x メディア学生団体
Vtuberによる地域魅力の海外発信



貿易会社 x 海外交流団体
海外交流プログラム開発



SHARE VALUE PROJECT

06

私たちについて





SHARE VALUE PROJECT

運営委員会（案）

共同代表：河村穂絵（神奈川）、Huy Ho（VIETNAM）、Jin Wen（CHINA）

副代表：小泉優子（東京）、遠田悠也（北海道）

委員：齋藤夏帆（北海道）、菅原宏太（岩手県）、江川 巧（福島）、船岡佳生（東京）、生田元慶（東京）、富山大学キャリアサポート（富山県）、里村千尋（大阪）、片桐美海（大阪）、塩川知良（岡山）、伏谷健太郎（岡山）、宮川智慧（長崎県）

特別協力：旭川市、岩見沢市、函館市、青森県、岩手県、福島県、茨城県、栃木県、新潟県、富山県、長野県、静岡県、三重県、兵庫県、和歌山県、岡山県、愛媛県、熊本県、宮崎県、沖縄県

協力：札幌市、盛岡市、宮城県、仙台市、福島県、福島市、笠間市、宇都宮市、那須町、さいたま市、川崎市、新潟市、南砺市、砺波市、石川県、福井県、山梨県、北杜市、長野市、豊橋市、安城市、新城市、春日井市、名古屋市、松原市、高石市、三田市、洲本市、橿原市、鳥取県、島根県、新庄村、広島県、山口県、今治市、松山市、砥部町、高知県、高知市、北九州市、中間市、福岡市、佐賀県、長崎県、長崎市、大分県、高原町、鹿児島県、名護市、読谷村

一関まちづくりの会、株式会社ホンネ、株式会社ネクスター、株式会社Uプロジェクト、株式会社コンサイズ、一般社団法人日本プロ野球外国人OB選手会、株式会社与志田、QUINTBRIDGE、株式会社北日本新聞社、株式会社MBS企画、株式会社ASURX、株式会社エンセス

繋がる日本プロジェクト運営委員会、32歳までの若者共同事業体実行委員会、リ：ジョン・クエスト運営委員会、ユース・イベント・コミッション運営委員会、ツナガル・オウンド・メディア運営委員会、ビヨンド・バリュー・プロジェクト運営委員会





06

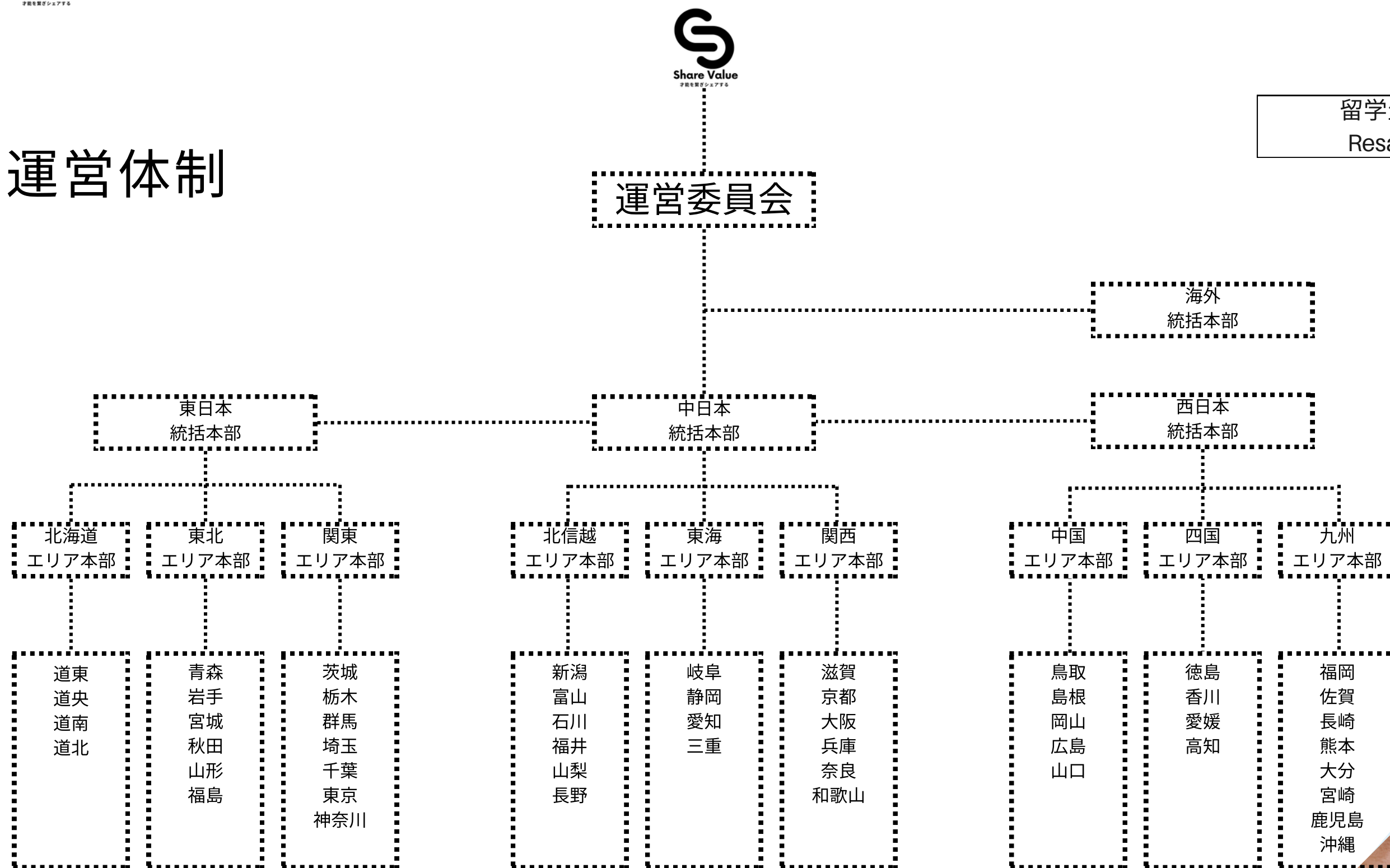
運営体制





SHARE VALUE PROJECT

運営体制



留学生就職支援サービス
Resarte代表：河村穂絵

アジア

オセアニア

アメリカ大陸

ヨーロッパ

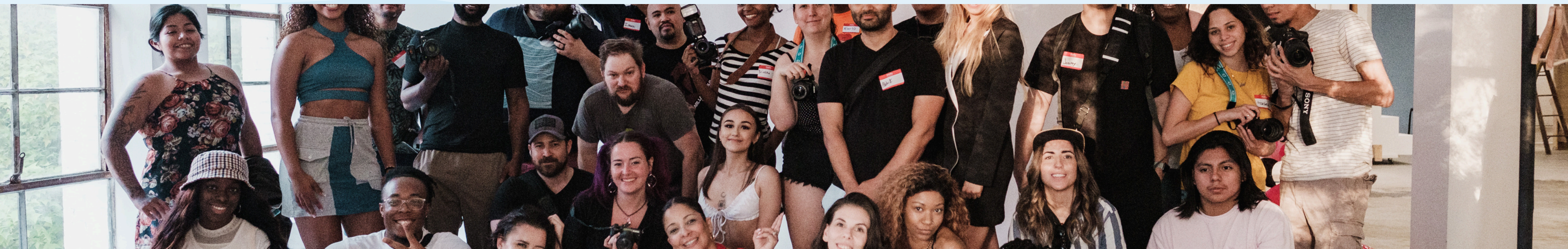
アフリカ



SHARE VALUE PROJECT

06

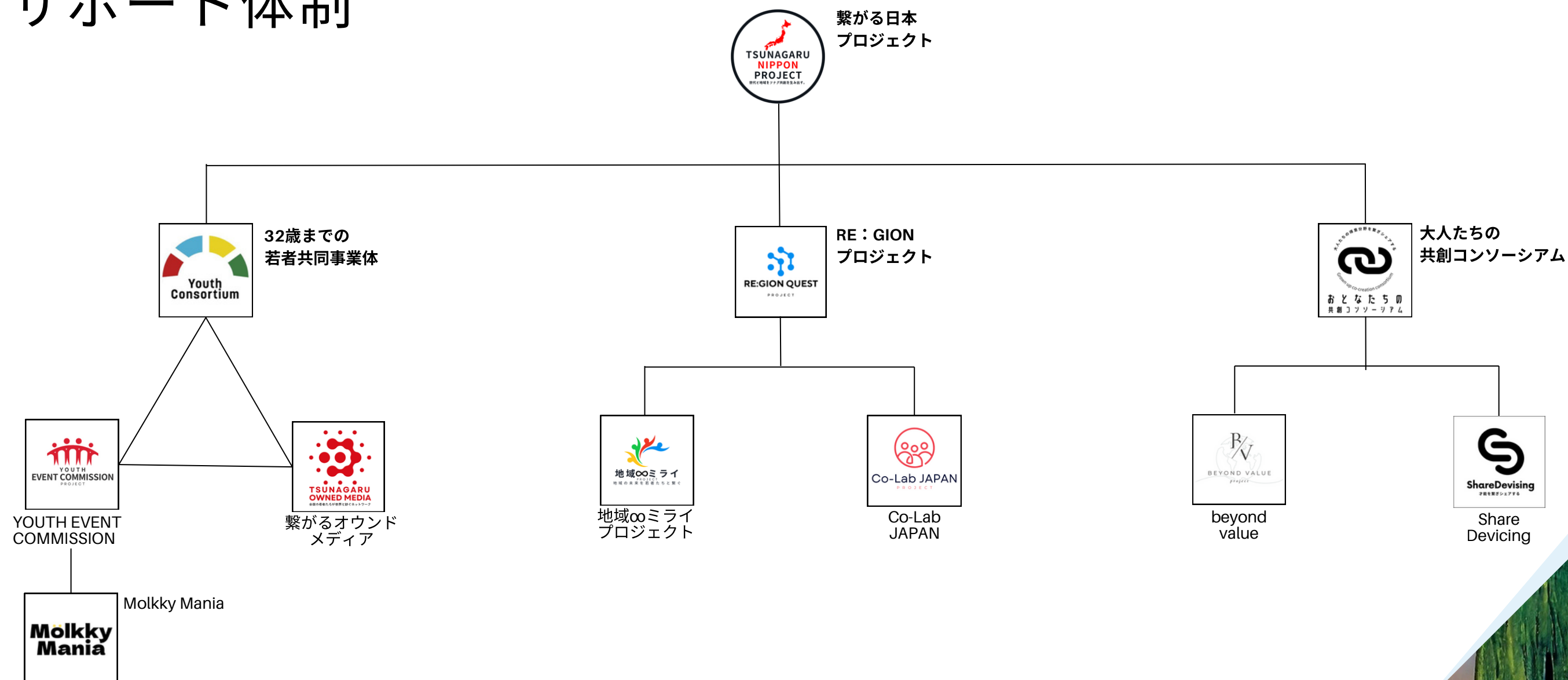
サポート体制





SHARE VALUE PROJECT

サポート体制





SHARE VALUE PROJECT

2024年年度の現在地

出生数

68万人

ピーク時270万人

総人口数

1.2億人

前年度比55万人減

パートナー数

49万組

ピーク時110万組





SHARE VALUE PROJECT

運営委員会事務局

(合同会社シェアビー内)

メールアドレス

contact@tsunagaru-nippon-prproject.jp

ウェブサイト

tsunagaru-nippon-prproject.jp

ご不明な点やご質問がございましたら、連絡先までお気軽
にお問い合わせください。
